ご当地ナンバープレートでPR！寄付金で観光振興

～山口県知事・下関市長を招き、交付式を開催しました～

10 月１日より地域の風景や観光資源を図柄にした地方版図柄入りナンバープレートの交付が始まりました。

山口県では、代表的な観光地である「錦帯橋」と「秋吉台」、山口県ＰＲ本部長である「ちょるる」をあしらった山口ナンバーと、下関地域を代表するランドマークである「関門橋」「海峡ゆめタワー」「赤間神宮」「花火」と「ふく」をあしらったデザインの下関ナンバーの交付が、地域の要望により同時にスタートすることになり、台風一過のさわやかな秋晴れの中、山口県知事と下関市長に第一号のナンバープレートを交付し、それぞれの公用車に取り付けを行う交付式が盛大に挙行されました。

交付式は、山口県におけるナンバープレート交付代行者である（一財）山口県自動車振興センターの主催、山口運輸支局、山口県、下関市が共催で実施し、多くのマスコミ関係者の前で、地方版図柄入りナンバープレートを広くＰＲしました。

出席者紹介の後、藤原支局長が立会者として「地方版図柄入りナンバーが地元の方に愛され、走る広告塔として今後全国に発信され、地域振興・観光振興の一翼を担うことを祈念する」旨の挨拶をした後、「山口版」「下関版」の各第一号として、（一財）山口県自動車振興センターの森橋理事長から山口県知事と下関市長にナンバープレートが交付されました。

今後、山口県知事と下関市長の公用車を始め、一般の自動車ユーザーもこの地方版図柄入りナンバープレートを自らの愛車に取り付けることで、自分が住んでいる県・市をＰＲするとともに、フルカラーの図柄入りナンバープレートについては寄付金により、ユーザー自身が導入地域における交通改善や観光振興などの取り組みに貢献することも可能となります。

本日の交付式には、たくさんのマスコミ関係者の取材もあり図柄入りナンバープレートへの注目度は高いものでした。

山口運輸支局としてもご当地ナンバーをつけた車がたくさん走ることで、山口県と下関市の更なる魅力発信に繋がるよう（一財）山口県自動車振興センターと連携して、引き続き取り組んでいく所存です。